

1. 専門委員会の概要

2016年に設置され、保護と利用のバランスの観点から中国における知財関連法規について研究を行っている。

これまでは、主に、独禁法、不競法が実務面に与える影響を研究してきた。昨年度より、世界各国で注目を浴びているAI、IoT、ビッグデータ関連についても研究を開始している。

2. 2019年度参加企業・事務所(2019年7月末現在、順不同)

上海金天知的財産代理事務所

日本西村朝日律師事務所

三菱重工業(中国)有限公司

索尼(中国)有限公司

キヤノン(中国)有限公司

森・濱田松本法律事務所

電装(中国)投資有限公司 ※副委員長

豊田汽車(中国)投資有限公司

富士电机(中国)有限公司

理光(中国)投資有限公司 ※副委員長

本田技研工業(中国)投資有限公司

阿尔卑斯(中国)有限公司

松下電器(中国)有限公司

パナソニックR&D(蘇州)有限公司

林達劉事務所

マツダ(中国)企業管理有限公司

安川電機(中国)有限公司 ※委員長

計17社

3. 2019年度研究テーマ

本年度は下記テーマに特化して研究している。

テーマ1; 標準必須特許、標準化の動向

活動内容(予定); 中国標準化制度の研究、各標準化団体のライセンスポリシーの分析・比較、関連判例研究、有識者へのヒアリング、等

テーマ2; IoT、ビッグデータ、AI、ブロックチェーン

活動内容(予定); 活用からみた出願時の留意点、BATの動向、特定分野の出願動向分析、判例研究、有識者へのヒアリング、等

4. 中間成果

- ・ ~2019年5月中旬
研究テーマの設定(3ページ記載)
- ・ 2019年7月12日
「ビッグデータ、人工知能の変革と知財イノベーション」
(講師;数文明 涂子沛氏、場所;JETRO広州)
ビッグデータ関連書籍を多数執筆され、大学等でも数多くのご講演経験のある涂子沛氏を講師に迎え、中国における最新動向をご講演いただくとともに、JETRO山本氏より日本における最新動向も説明し、意見交換を行った。

※参加者;JETRO広州18名、北京6名、上海4名(計28名)

5. 課題と今後

課題	テーマ1(標準必須特許、標準化の動向)において、各標準化団体のライセンスポリシーの分析・比較を試みたが、情報が取り難く、一旦保留することとした。
今後 (1)	テーマ1への関心事項をまとめ、有識者にヒアリング予定(2019年9月20日)。
(2)	テーマ2(IoT、ビッグデータ、AI、ブロックチェーン)への関心事項をまとめ、有識者にヒアリング予定(2019年10月以降)。
(3)	国家市場監督管理総局より7月に公布された下記規程についての研究を予定。 「独占合意の禁止に関する暫定規定」 「市場支配的地位濫用行為の禁止に関する暫定規定」 「行政権限濫用による競争の排除・制限行為の禁止に関する暫定規定」